

2023年度理工学部履修案内 正誤表

下記の通り、変更がありましたので訂正いたします。

令和7年4月1日現在

理工学部教務係

訂正日	正誤及び補足箇所	誤	正
2024/10/10	3ページ 5. 授業科目の履修手続きについて (xi) また、通年科目は春学期の履修登録単位数に計上される。	通年科目は春学期の履修登録単位数に計上される。	通年科目は2等分して春学期と秋学期の履修登録単位数に計上される。
2025/4/1	A15-A16ページ 別紙1のとおり		
2025/4/1	F19ページ 全学教育科目	「システム・エンジニアリング」	「システム・エンジニアリングもしくはITシステム開発プロセス」

(3) 履修単位登録数の上限

- 1) 各学期の履修登録単位数の上限は、24 単位である。ただし、履修登録を行う学期のひとつ前の学期における GPA が 3.6 以上の者については上限を 28 単位とすることができる。
- 2) 次に挙がっている科目については、履修登録単位数の計算から除外できる。

- ① 教育職員免許状取得のための「教育の基礎的理解に関する科目等」の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」の中で海洋空間のシステムデザイン教育プログラムの卒業要件に含まれない科目 (p. 11～参照)
- ② 理工学部副専攻プログラム科目 (ただし、主専攻の科目として履修する場合は履修登録上限単位数の計算に含まれる)
- ③ 通常学期期間外 (第3, 第6ターム) に開講される科目

* : 科目名等は今後カリキュラム変更により変更されることがありうる。

- 3) 全学教育科目には、各学期 12 単位を上限とする履修登録制限がある。詳しくは全学教育科目の履修案内を参照すること。

(4) 早期卒業

後述の卒業資格の全ての要件を満たした場合は、3 年次終了時およびそれ以降に早期卒業ができる。そのためには、2 年次終了時 または 3 年次半期終了時 に早期卒業希望者の卒業研究着手要件を満たし、3 年次 開始時およびそれ以降にの通年で卒業研究 A および卒業研究 B を履修する必要がある。

(5) 研究室への配属

本 EP では卒業年次に研究室に配属され、卒業研究を実施する。卒業研究の科目である卒業研究 A および卒業研究 B を履修する卒業年次に進級するには、その前 学期年度までに後述の「卒業研究着手要件」を満たす必要がある。配属研究室は希望と成績により決められる。配属研究室の希望が重複する場合には、成績表に記載されている「全学教育科目 GPT+学部教育科目 GPT×1.5」の数字の大きい希望者の希望が優先される。尚、「各 GPT」の算出では、教職に関する科目や他学部開講科目などの GPA 除外科目は対象とならない。

(6) 大学院への飛び入学

本教育プログラムでは、大学卒業を必要としない大学院進学を認める制度を設けていない。

履修基準

本 EP では、卒業に必要な「卒業要件」と、卒業研究の履修に必要な「卒業研究着手要件」の履修基準がある。

(1) 卒業要件

卒業に必要な履修基準は以下の通りである。尚、A16 に掲載の「海洋空間のシステムデザイン教育プログラム 履修基準表」を、以下は「履修基準表」と呼ぶ

- 1) 本学に 4 年以上在学すること (但し、早期卒業はこの限りではない)。
- 2) 全学教育科目の履修単位数・履修科目が、履修基準表に示す卒業に必要な要件を満足すること。
- 3) 学部教育科目が、履修基準表に示す、卒業に必要な要件を満足すること。
- ~~4) 卒業研究 A および卒業研究 B の単位を修得していることを終了すること。~~
- ~~4b) 卒業に必要な授業科目のうち履修登録した全科目の GPA (成績表の「通算 GPA」) が 2.0 以上であること。~~

(2) 卒業研究着手要件

学期年度の終了時に卒業研究着手要件を満たすと、次の学期以降に年度の卒業研究 A および 卒業研究 B を履修できる。原則として、卒業研究 A の単位を修得した次の学期以降に卒業研究 B を履修する。在学期間により着手条件が異なる。各 学期年度で 新たにの卒業研究着手要件を満たした者は 次の学期年度初めに公表する。尚、卒業研究 A および 卒業研究 B は配属研究室で履修する。

「卒業研究着手要件 (通常) ~~(対象: 年度終了時に在学期間 3 年以上)~~」

学期年度終了時に以下の条件を全て満たしているものは、次の学期以降年度に卒業研究 A および卒業研究 B を履修することができる。

- 1) 在学本学に 3 年以上在学すること期間が 3 年以上であること。
- 2) 全学教育科目の履修単位数・履修科目が、履修基準表の卒業研究着手条件を満足していること。

32) 学部教育科目が、履修基準表の卒業研究着手条件を満足していること。

43) ~~通算 GPA が 2.0 以上であること。~~

454) 卒業研究 A を履修する場合は、その履修予定期間を補償する学生教育研究災害傷害保険に加入していること。卒業研究 B を履修する場合も同様に、その履修予定期間を補償する学生教育研究災害傷害保険に少なくとも在学予定期間中は加入期間 1 年を残して加入していること。

「卒業研究着手要件（早期）~~（対象：年度終了時に在学期間 3 年未満の早期卒業希望者）~~」

学期年度終了時に以下の条件を全て満たしているものは、次の学期年度に通常年次の履修科目に加えて卒業研究 A および卒業研究 B を早期に履修することができる。これにより、卒業資格の全ての単位要件を満たした場合は、3 年次終了時およびそれ以降に早期卒業ができる。

- 1) 3 年次開始時に卒業研究 A を履修する場合、2 年次終了時に 106 単位および GPA 4.2 以上であること。3 年次半期終了後に卒業研究 A を履修する場合、その時点で GPA 4.2 以上であること。
- 2) 全学教育科目の履修単位数・履修科目が、履修基準表の卒業研究着手条件を満足していること。年度終了時に、通常の卒業研究着手要件の 1) 及び 4) を満たしていること。
- 3) 3 年次開始時に卒業研究 A を履修する場合、学部教育科目については、履修基準表の基礎演習科目及び専門基礎科目に関する卒業研究着手要件、専門科目については 3 年次の必修科目を除く必修 8 科目を含み、40 単位以上修得していること（配当年次に依らない計画的な履修が必要）。3 年次半期終了後に卒業研究 A を履修する場合、学部教育科目が、履修基準表の卒業研究着手条件を満足していること。
- 4) 卒業研究 A を履修する場合は、その履修予定期間を補償する学生教育研究災害傷害保険に加入していること。卒業研究 B を履修する場合も同様に、その履修予定期間を補償する学生教育研究災害傷害保険に加入していること。

海洋空間のシステムデザイン教育プログラム 履修基準表

		卒業研究着手条件	卒業に必要な条件
全学教育科目	基礎科目	人文社会系	4 単位以上
		自然科学系	4 単位以上
	外国語科目	英語科目	4 科目以上*2
		初修外国語科目	1 科目以上
		外国語科目小計	6 科目以上
	健康スポーツ科目	選択 4 単位まで算入できる	選択 4 単位まで算入できる
全学教育科目小計		20 単位以上	24 単位以上
学部教育科目 *3	基礎演習科目		5 科目以上
	専門基礎科目	カテゴリー1	6 単位以上
		カテゴリー2	5 単位以上
		カテゴリー3	6 単位以上
		専門基礎科目小計	22 単位以上
	専門科目	必修科目	卒業研究を除く必修 14 科目 中 10 科目以上
専門科目合計		53 単位以上	
学部教育科目小計		81 単位以上	100 単位以上
総計		109 単位以上	124 単位以上

*1 必修の海事技術史、海洋工学と社会を含んでいること。

*2 グローバル教育科目の国際交流科目は英語演習科目の単位として上限 2 単位 (1 科目) まで読み替えられる。

*3 学部教育科目については p. A17-19 の授業科目一覧を確認し把握すること。

履修に関するその他の注意